

本時の学習（12時間予定 本時はその2）

（1）ねらい

自分の嗜好もふまえながらお楽しみ献立作りをし、食事作りに関心をもつことができる。

（2）人権教育の視点

食べる人のことを考えながら献立作りをし、楽しい食事のあり方について考えることができる。

（3）準備

献立スケッチ用紙 学習ノート

（4）展開（きめ細かな指導）

学習内容	時間	支援及び指導上の留意点	評価規準（方法）
1 お楽しみ献立作りをする。	15分	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の説明からお楽しみ献立作りをすることをおさえ各自にお楽しみ献立を考えさせる。 ・一人ずつ献立スケッチ用紙を配り、思いついたものを書き留めていくようにする。 アイデアが浮かばない児童には、日頃食べているものや好きな食べ物を挙げさせ参考にさせる。 徐々に、1食分の献立として食品の組み合わせ方にも目を向けられるように声かけをする。 ・1食分の献立が考えられた児童には、また別のもう1食分の献立を立ててもいいことにする。 ・机間巡視を行い、献立スケッチ用紙には、文字やイラストで分かりやすく示すように工夫させる。 	（十分満足な状況 おおむね満足な状況）
2 お楽しみ献立を発表する。	10分	<ul style="list-style-type: none"> ・考えたお楽しみ献立を発表させ、どうしてその献立にしたか理由について説明させる。 ・何例か献立例を挙げさせ板書し、自分が考えたものと比べ友達が考えたもののよい点について話し合う。 比べる観点として、食品数、旬のもの、地域の特産物などがあることも助言する。 ・日頃の給食と比べてどうであるか、また、給食を参考にしたかなどふれておく。 ・お弁当作りの献立にもなるので、お弁当としての作りやすさも考えさせる。 	
3 献立を作るときに気を付けることを考える。	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・お楽しみ献立と一緒にどんなことに気を付けて献立を考えたらいいか、クラスの意見をまとめておく。 ・前時の食事調べをもとに朝食や夕食、給食と自分が考えた献立を見比べ、また調理可能なものであるか、見直す。 	
4 食事調べをふり返り給食の優れた点をまとめる。	15分	<ul style="list-style-type: none"> ・給食では、どのようなことに気を付けて献立を立てているか、給食センター発行の通信『すこやか』を読む。 ・給食献立表から給食の食品数が20近くもあることや、毎日の献立にエネルギー量、塩分、脂肪分が記されていて、きちんとした栄養計算がされていることを理解させる。 	自分なりに工夫したり、友達の意見を参考にしたりしながらお楽しみ献立を立てることができる。 （献立スケッチ用紙） 1食分の献立を考え書くことができる。
5 家庭学習を知らせる。		<ul style="list-style-type: none"> ・家庭では、どんなことに気を付けて献立を立てているか、家の人にインタビューしてくることを知らせる。 	（献立スケッチ用紙）